

取扱説明書

No. 108-0061 簡易検流計 KGM



実験動画

この度はケニス 簡易検流計 KGM をお買い上げいただき、有難うございます。
ご使用前にこの説明書を読んで、注意事項を守っていただきますようお願い致します。
お読みになった後も、大切に保管してください。

安全上の注意



注意

取扱を誤った場合、使用者が傷害を負う可能性、又は物的損害が発生する可能性があります。
そのため、使用前には必ず下記の注意事項をよく読み守っていただきますようお願い致します。

- 本器を理科実験以外の目的で使用しないでください。
- 本器を落下させるなどの強い衝撃を与えないでください。破損や事故の恐れがあり危険です。
- 本器は精密機械ですので、取扱いには十分注意してください。
- 水分や薬品・有害なガスにより本器が腐食する恐れがあります。そのような環境での使用・保管は行わないでください。
- 温度・湿度の高い場所及び振動の大きい場所では使用・保管しないでください。
- 直射日光下で保管しないでください。
- 各レンジの最大値を超えないよう注意し、使用中にメーターの指針が振り切れた場合はすぐに回路から切り離してください。
- 本器を乾電池などの電源に直接接続しないでください。故障の原因となります。
- 本器は直流用のため、交流には使用しないでください。故障の原因となります。
- 0点調整時以外は0点調整ネジを回さないでください。また調整の際はゆっくりと回してください。
- 使用時や収納時に、本体と裏蓋の間でみの虫クリップ付リード線を強く挟まないよう注意してください。
- 裏蓋（傾斜用脚）に強い力を加えないでください。破損の原因となります。
- 汚れがついた場合は、水に濡らして固く絞った柔らかい布で拭いてください。
- 本器をシンナーなどの有機溶剤やクレンザー等で拭かないでください。故障の原因となります。
- 製品の分解・改造は絶対に行わないでください。故障の原因や感電の恐れがあります。

商品概要

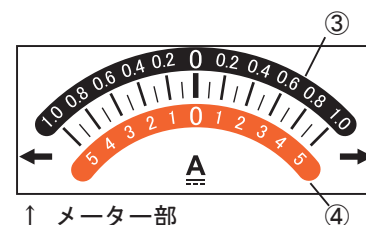
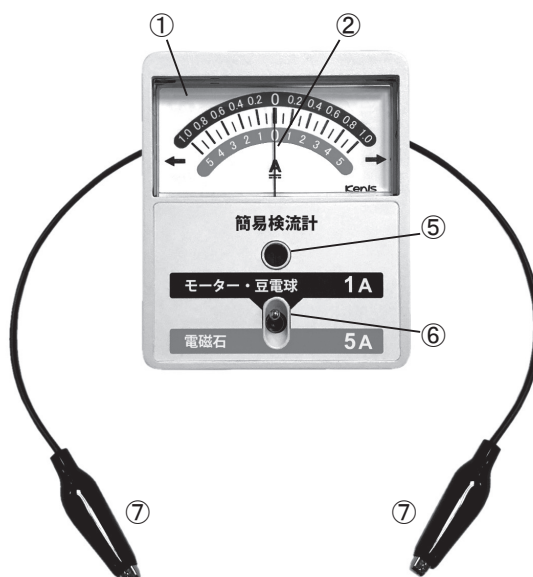
- 電流の流れる向きや強さを調べるのに使用する検流計です。
- 電流の流れる向きにメーターの指針が振れます。
- 1A レンジでモーターや豆電球の実験、5A のレンジで電磁石の実験に使用できます。
- 小型の検流計ながら目盛円弧長が54mm と大きく、振れ幅の違いがよくわかります。
- レンジ切替スイッチとメーターの目盛の配置と配色が一致しているため、使用中のレンジが上下どちらの目盛に対応しているか一目でわかります。
- みの虫クリップ付リード線は本体裏側に収納することができます。収納部の蓋は傾斜用脚になります。
- 本体を複数台積み重ねられますので、戸棚等にコンパクトに収納できます。

仕様

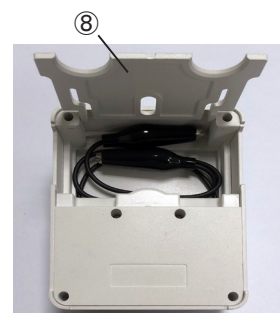
測定範囲	1～0～1A 5～0～5A 2段階 上下切り替えスイッチ式
メーター	目盛円弧長 54mm JIS2.5級 可動線輪型
機能	みの虫クリップ付リード線 メーター過電流保護機構 傾斜台型
大きさ	78 × 92 × 38mm

各部名称

- ①メーター
- ②指針
- ③1A 目盛（黒）
- ④5A 目盛（赤）
- ⑤0点調整ネジ
- ⑥レンジ切替スイッチ
- ⑦みの虫クリップ付リード線
- ⑧裏蓋（傾斜用脚）



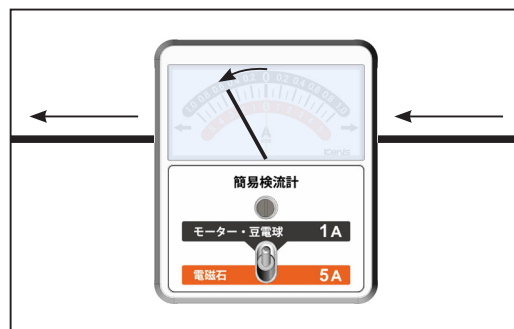
↑ メーター一部



↑ 本体裏面

使用方法

1. 本体を水平なところに置きます。
2. メーターの指針が目盛の中央（0点）を指していることを確認します。
※ 指針の位置が中央からずれている場合は下記の「0点調整機能」をご確認ください。
3. レンジ切替スイッチを5Aレンジ（下）の方向に切り替えます。
4. 左右のみの虫クリップ付リード線で、測定を行いたい回路に直列に接続します。
5. 5A目盛（赤）で数値を読みます。数値が1Aより小さければ、一度回路から切断しレンジ切替スイッチを1Aレンジ（上）の方向に切り替えます。
6. ④と同様に回路に接続したあと、1A目盛（黒）で数値を読みます。



電流の流れと同じ向きに針が振れます。

その他の機能

■0点調整機能

出荷時にメーターの指針は0点調整されていますが、指針が目盛の中央（0点）を指さない場合は以下の方法で調整を行ってください。

- ① 本体を水平なところに置きます。
- ② 0点調整ネジをマイナスドライバー等を使ってゆっくりと回します。
- ③ メーターの指針が目盛の中央（0点）を指すところまでとめます。

■リード線収納・傾斜機能

使用後は本体裏側上部にみの虫クリップ付リード線を収納し、裏蓋を閉めます。裏蓋は使用時に開いて傾斜用脚として使用できます。

■積み重ね機能

裏蓋を閉めた状態で本体を積み重ねることが可能です。

本体裏面上部の穴にレンジ切替スイッチが入るように、本体の上下を入れ替えながら積み重ねます。



↑ 傾斜用脚を開いたとき

